「事業名：浪江町の復興をフォローアップする地域人材育成のための保健・環境・防災教育プログラム

弘前大学　連携市町村：浪江町
現地拠点：福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2　浪江町役場本庁舎内

事業のポイント

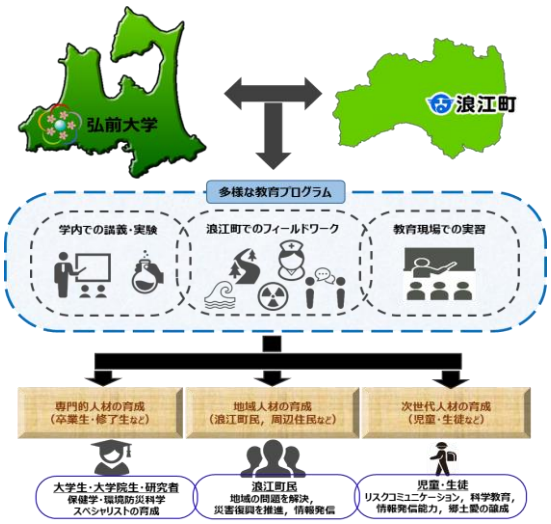
★弘前大学浪江町復興支援プロジェクトWGが中心となり、弘前大学浪江町復興支援室とともに**浪江町を教育実践のフィールドとした事業**を展開
★保健科学および理工学・教育学系の学部・大学院学生に対する**フィールド活用型アクティブ・ラーニングプログラム**の実践
★帰還後の住民や町職員のためのリカレント教育プログラムの実践と直接対話によるリスクコミュニケーションの実践
★フィールドワークの実践をとおして学んだ知見を地域の子どもたちや住民に直接情報発信する「課題解決型情報発信の実践」

人材育成目標

●課題解決型学習において災害看護の実際的な支援を学び、住民中心でかつ広範な視野で考え連携できる人材の輩出
●フィールドワークを通じて原子力災害と放射線の環境・生物影響を理解し、放射線管理や環境モニタリングの現場で活躍できる人材の輩出
●放射線に対する不安を抱えた住民との対話に基づいた体験型アクティブ・ラーニングによる放射線リスクコミュニケーション人材の育成
　◆地域の抱える健康・災害・放射線への疑問や課題をフォローアップできる発信力のある人材
　◆地域との密接な関係を基盤とした地域を支える子どもたちや地域の若手就業者

2025年度の活動内容

●弘前大学学部学生および大学院学生に対する人材育成（対象：看護・放射線・理工・教育）
1. これまでの知見を活かした学内での放射線看護基盤教育と浪江町での災害看護ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸの実践
2. 帰還困難区域を対象とした環境モニタリングの実践と学内での基礎講義およびデータ解析演習
3. フィールドワークによる放射線生物影響および体内放射性物質の推移に関する演習と実習
4. フィールドワークによる浪江の自然災害調査と地球科学的知見の整理
5. 帰還困難区域と居住地域を繋ぐ請戸川におけるフィールドワーク実習とデータ処理演習
6. 教育学部学生等が学校行事や生徒との交流をとおして被災地域における教育環境を学ぶプログラムの実施
●放射線リスクコミュニケーションの体験型アクティブ・ラーニングと地域の人材育成（対象：町民）
1. 放射線リテラシー醸成の教育プログラムの実施
2. こども園職員による放射線リスクコミュニケーション実践の基礎資料開発
3. 桜復興・観光資源保全に向けた教育プログラムの実施
★町との定期的な会合と地域の子どもたちや住民へ発信の場の設定



取り組みによって得られる成果

●浪江町での能動的な学習により、**震災をフォローアップできる医療に携わる人材の育成**
●複合災害地域を踏まえた**環境防災教育プログラムの立案と人材の輩出**
●震災を学び情報発信できる**本学学生**の輩出と浪江町の**地域若手人材**の育成